

会議録

会議の名称	第1回 枚方市上下水道事業経営委員会
開催日時	平成24年 7月 31日（火） 15時30分から17時30分まで
開催場所	中宮浄水場 高度浄水施設 水と緑のふれあい館
出席者	<p>委員長：真山委員、副委員長：中室委員</p> <p>委員：飯田委員、日垣委員、田中委員、福川委員、実松委員、山口委員</p> <p>職員：＜水道部＞谷本部長、伊藤次長、松山次長、静間次長、大越給水管理課長、津熊水道工務課長、中井お客さまセンター長、南迫水道保全課長、犬塚浄水課長、小幡主幹、田内主幹、野島主幹、山森主幹、林課長代理、山本課長代理</p> <p>＜下水道部＞片岡部長、吉竹次長、川村次長、湯川下水道整備室課長、森井下水道整備室課長、松本下水道整備室課長、藤村下水道管理課長、森村下水道施設維持課長、松下課長代理</p> <p>事務局：木挽上下水道経営課長、乾課長代理、北田、中島</p>
欠席者	大森委員
案件名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上下水道事業 事業報告について 2. 上下水道事業 経営評価について 3. 計画の策定及び改定について 4. その他
提出された資料等の名称	<ol style="list-style-type: none"> 1. 枚方市上下水道事業 事業報告書 平成23（2011）年度 2. 水道事業経営評価表 3. 平成23年度実績 水道事業基本施策評価表 4. 水道事業ガイドライン業務指標（P I）実績一覧表 5. 上下水道ビジョンに基づく経営評価について 6. 上下水道事業経営委員会スケジュール予定表 7. 枚方市上下水道事業経営委員会 委員名簿 8. 出席職員等一覧
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議の公開及び会議録の公表 2. 経営評価自己評価結果に係る検証作業の実施 3. 上下水道ビジョン（素案）に係る確認作業の実施 4. 第2回上下水道経営委員会の開催日時
会議の公開、非公開の別	公開
会議録の公表、非公表の別	公表
傍聴者の数	0人
所管部署（事務局）	水道部 上下水道経営課

審 議 内 容

1. 会議等の公開の決定について

- ・委員会の会議は公開、会議録については公表とすることを決定。（全会一致）

2. 上下水道事業 事業報告について

- ・平成23年度事業実績の報告を受け、報告内容について確認。

3. 上下水道事業 経営評価について

- ・平成23年度水道事業の実績評価等について本委員会に諮り、自己評価結果にかかる委員による検証作業を実施。
- ・現在策定作業中の上下水道ビジョンに基づく上下水道事業の経営評価のしくみについて説明を受けた。

4. 計画の策定及び改定について

- ・現在策定作業中の「上下水道ビジョン(素案)」、上下水道事業ビジョンと合せて策定する「水道事業中期経営計画(素案)」、「水道施設整備基本計画(素案)」、「下水道事業経営計画(素案)」について説明を受けた。
- ・「上下水道ビジョン(素案)」に対しては、8月10日までに意見・質問等を提出することを決定。

5. その他

- ・「上下水道ビジョン」策定に向けた今後のスケジュールについて説明を受けた。
- ・次回、第2回経営委員会の開催の日程調整のうえ、10月3日（水）午後1時から開催することを決定。

6. 質疑応答

●上下水道事業報告について

委 員：水道事業と下水道事業の組織統合が行われたが、会計が統合されることはないのか。

片岡部長：水道事業と下水道事業の会計は個別のもので統合することはない。

●上下水道事業経営評価について

委 員：平成23年度実績の水道事業経営評価について、多くの評価指標があるが、枚方市の経営状況は全体的に良いのか、悪いのか。

谷本部長：類似団体との比較において、指標ごとに良い、悪いはあるが、全体としては良い結果であると捉えている。

委員長：類似団体との比較だけで評価結果の良し悪しを判断するのが良いのかということはあるが、資料2「水道事業経営評価表」では、類似団体との比較結果を白星、黒星で表してあり、類似団体平均を勝る白星の方が多くあるので、全体としては良いということが言えるのではないかな。また、基本施策評価表20「市民等との協働による災害応援協力体制の確立」については、昨年に引き続き「B」評価だが、上下水道局として市民公募による災害応援協力制度の構築

は未達成であるが、既に全小学校区に自主防災組織が結成され、自主防災組織活動の充実、向上に向けた取り組みが行われているということなので、別の意味で達成できているということが言えるのではないか。

●上下水道ビジョンについて

委員長：上下水道ビジョン・水道編については、現行の水道ビジョンを継承するというものでよいのか。

谷本部長：現行の水道ビジョンでは、6つの基本方向に従い23の基本施策を設定しているが、新たに策定する上下水道ビジョンでは、6つの基本方向に従い17の基本施策を設定しており、現在の状況を勘案し、今後の課題に対応させ基本施策の整理統合を行っている。

委員：上下水道ビジョンの冒頭に、組織統合のねらい、上下水道事業全体に係ることをまとめて記述したうえで、水道事業、下水道事業、個々について記述するといった構成が良いのではないか。現在の構成では統一感がない。

谷本部長：ご意見いただいたようにまとめ、統一を図りたい。

委員：上下水道ビジョン（素案）としてある程度形になっているが、こういった意見を述べれば良いのか。短時間で意見を述べるのは難しい。

片岡部長：意味のわからない言葉、表現など何でも幅広くご意見をいただければと思う。

谷本部長：年度末の策定に向けてのスケジュールを考えると、委員の皆さまにじっくり検討いただく時間がなく、申し訳ない。今回説明のビジョン（素案）に対するご意見やご質問などは、8月10日頃までに提出いただきたい。

委員：下水道整備の100%はどこまでが範囲なのか。対象区域を示したうえで取り組みを掲げてはどうか。

片岡部長：下水道整備の対象区域は、都市計画で計画区域を定めており、その計画区域全域を整備目標としている。

委員：計画区域を定め、全域を整備目標としている根拠は何か。

片岡部長：都市計画法で定めている。